

# カンボジア自立支援

牛の支援をして下さった方にお送りしているカンボジアの家族の写真が、200枚を越えました。ボランティア貯金からの支援を加えると300頭以上を支給したことになります。今後も子牛が生まれています。皆様からのメッセージは、スタッフがかける時に持参して、村の人に直接に見せて紹介しています。

## カンボジアの人への手紙

佐藤さん

カンボジアのみなさんこんにちは。

ばくは、日本でカンボジアに牛を送る会に入会している萩山実務学校の生徒です。ばくが、この手紙を書いた理由は、萩山の農場の先生が、授業の時間に栗拾いやって、「栗をいっぱい拾い、それをふくろにつめて、その栗を売ったお金の半分をカンボジアに牛を送る会に寄付しよう。ただ寄付するだけじゃなく、ばく達も手紙を書いてわたそう」と言ったからです。

ばくは、農場の先生にカンボジアは、何年も戦争をやっているんだと聞かされました。そして、そのために、土地がやせてしまったりして、大変なことが起きていること。それと、畑仕事で、水田をたがやしたりする時、牛とかを使ったりすると聞きました。だけど、牛は高くてなかなか買えないそうです。だから、そうゆう人たちのために、農場で、野菜とか売ったお金を寄付するんだよと言われました。

牛をもらった人は、雨期にそなえて、牛のフンをたくわえ、牛のおかげで、ひりょうを買う量が少なくなったそうです。もらった資料の中に「牛を持つことは、米を持つこと」と書いた資料がありました。ばくは、その言葉から、カンボジアでは、牛がすごく大切なという事がわかりました。生活が大変そうだけど、これからも頑張ってください。



グナム トンさん 66才 未入会

## 「カンボジアの人へのメッセージ」から

私は4月に中学生になりました。父(会社員)母(主婦)姉(高3)の4人家族です。東京のとなりの埼玉県に住んでいます。父がカンボジアの牛の支援プロジェクトのことを話してくれました。カンボジアで働く牛の姿が目につく、いいなと思ったので、みんなでおこづかいをだし合いました。私達のあつめたお金で買った牛がカンボジアの人たちの役に立つといいです。これからもがんばってください。(山浦さん)

今回のプロジェクトには、私(45才)長男(19才)次男(15才)の三人で参加致します。長男は、新聞配達をしながら、大学の新聞学科で学んでいます。次男は4月から高校生になります。私は夫の仕事の手伝いと染織の仕事をしています。数年前から皆で続けていた「つもり貯金」が、一頭の子牛になりカンボジアの方のためになると思うととても嬉しです。(斎藤さん)

私は、1941年に東京で生まれ、ずっと東京に住んでいます。50年前の日本の惨状を少し覚えていて、今、カンボジアの皆さんのご苦勞を知り、当時を思い起こし、微力ながら、支援させて頂こうと思います。皆さんの生活が少しでも改善されることを祈ります。(土屋さん)



マー ラさん、26才、妻と2人の子どもたち

## わかちあいプロジェクト募金

- カクマ、キボンド難民支援
- カンボジア、タイ自立支援
- エリトリア職業訓練校支援

98年の難民支援活動の第一は、5回目になるカクマキャンプへの青年の派遣です。98年はすでに図書館建設のワークと決まっています。ボランティアと言っても、しっかりと仕事です。

できる人を探しています。彼は月曜から金曜まで、毎日、朝、2クラス、計4クラスを教えています。ボランティアと言っても、しっかりと仕事です。

コーヒー 紅茶プロジェクトではタイ山岳民のコーヒーの品質向上のために支援いたします。また、何よりも日本のマーケットの確保が必要ですので、そのためにマンさんを月に招きます。

トランス フェアの働きは、ヨーロッパと協力して行う将来性のある公平貿易活動です。今年の6月には今まで移動していたグループを一つにするためFLO

## 1998年 募金目的と目録

- カクマ難民救援 200万円  
図書館建設費用  
ワークキャンプ諸費用
- 古着などのコンテナ費用 100万円
- カンボジア自立支援 200万円  
牛の支給プロジェクト
- エリトリア職業訓練校支援 200万円
- タイ山岳民族自立支援 200万円

募金目標額 900万円

## 募金の送金先

郵便振替口座  
わかちあいプロジェクト募金  
00130-7-762258

(Fairtrade Labeling Organizations International)が15ヶ国が加盟して作られました。日本でもすでに第一コーヒ、UCC、三井物産と契約を結びましたが、残念ながら一部しか商品化されていません。

## お知らせ

●わかちあい オンライン!  
コーヒー、紅茶の注文もホームページで可能  
電子メール: QWA03157@niftyserve.oc.jp  
Homepage:

http://www.big.or.jp/~wakaitai/  
ホームページの担当は長瀬さんです。少しづつ改善されています。

## ●1998年古着支援要項

●支援 宛先カンボジア、キボンド難民キャンプ

●古着の種類: 子供と大人の衣服 (夏冬各のTシャツ、ナイロン、スウェット、ワイシャツ、ジーンズ、トレーナー、ジャージ、カーディガン、セーター、コートなど) Oシャツ、裏紙などで使ったジャージ類は不要です。オカザルが、

●古着の状態: 洗濯し出したもの、あはれ自分ですべてアイロンをかけたものにしてください。破損、穴があいていたり、ひどく汚れたものは不可

●古着の個数: カンボジア、1000個以上

●送り先: 株式会社中野町9-11  
日東倉庫 東京三軒シッピング内  
(電話: 045-621-4870)

わかちあいプロジェクト  
その他のお持ち込みも可  
●受付期間: 1998年6月 9日(月) -  
6月20日(土)

(この期間に届くようにお送りください)

●ダンボール箱の大きさ: 自由

●送付カンパのお問い合わせ: ダンボール1箱あたりのタンザニアまでの送料は約千円です。出来ましたらカンパをお願いたします (荷物と一緒にカンパを送られますと、そのままタンザニアまで送られてしまいますので、ご返金下さい。郵便振替でご送金ください)

●発送の責任: 株式会社わかちあい・クリスチャン難民サービス、ルーサー世界連盟世界善後部

●主催 団体: わかちあいプロジェクト

●わかちあいプロジェクト募金  
名称: わかちあいプロジェクト募金  
番号: 00130-7-762258

(古着送金先をご記入ください。振替用紙は郵便局にもあります)

受付期間に送り先を、間違えないようにお願致します。なお、男(Male)女(Female)大人(Adult)子ども(Child)と、区別してダンボール箱に書いてください。現地でも助かります。

わかちあいプロジェクトは、1992年から活動を開始した国際協力NGOです。難民支援、自立支援、公平貿易によるコーヒー、紅茶の販売の三つが活動の柱です。

なお、支援活動は、もともと世界連盟(Lutheran World Federation)の世界善後部の現地事務所と協力して、実施しています。

例会を、8月を除く毎月、第3火曜日午後7時より、聖パウロ教会の集會室で開催しています。よろしく知らいらしてください。思想、信条、宗教に関係せず、人道的支援とわかちあいを目的としています。

発行所 わかちあいプロジェクト 130 東京都墨田区江東橋5-3-1 聖パウロ教会内 Tel.03-3634-7809 FAX.03-3634-7808  
編集者 松木 傑 郵便振替口座: わかちあいプロジェクト募金 00130-7-762258 (募金用)  
わかちあいプロジェクト 00180-6-758331 (代金支払用)